

事例 1



4小節で表そう！

富士町の魅力

第1学年 表現（創作）

♪本題材で扱う学習指導要領の内容

第1学年 A表現(3)創作

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。

イ(ア) 音のつながり方の特徴

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。

〔共通事項〕(1)ア

リズム、速度、旋律

♪教材

「My Melody」（教育芸術社）

教師が学習者用デジタルコンテンツを用いてつくった参考作品

👉 [学習指導案](#)

👉 [ワークシート](#)

1 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

- 音のつながり方の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。
- リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。
- 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。

(2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p>	<p>思 リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>

1学期に行ったリズム創作の学習では、音符と休符を組み合わせて創意工夫を生かしたリズムを創作することができました。しかし、事前アンケートでの「音楽の学習の中で、どの分野が得意ですか」という質問に対して、「創作」と回答した生徒は全体の約11%でした。表現や鑑賞の学習活動では、旋律について知覚・感受することが難しい生徒が多かったため、この課題の解決に向けた授業づくりを考えました。



2 題材の指導と評価の計画（全4時間）

時	◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動	評価			評価方法
		知・技	思	態	
1	◆音のつながり方の特徴を理解し、富士町の魅力を表す旋律を創作することに関心をもつ。				
	○既習教材や身近な音楽を用いて、旋律（音のつながり方）に関心をもつ。 ・音のつながり方の特徴を知る。 ・音のつながり方の違いにより感受したことについて発表し、ワークシートに記入する。 ○本題材の見直しをもつ。 ○富士町の魅力について考え、つくりたい旋律のイメージをもつ。 ・富士町の魅力からイメージする音や音のつながり方などについてワークシートに記入する。				
2	◆音のつながり方の特徴について理解するとともに、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。				
	○旋律創作の課題や条件を知る。 ○表したいイメージを基に、1人1台端末を活用して旋律を創作する。 ・イメージ（富士町）に合う音楽表現を考えて4小節のリズムを創作する。 ・創作したリズムを基に、音のつながり方を考えて旋律を創作する。				
3 本時	○個人で旋律創作をする。 ・音のつながり方を工夫しながら、イメージに合う4小節の旋律を創作する。 ○グループで中間発表を行う。 ・グループでお互いに創作した旋律を聴き合い、意見交流を行う。 ・グループでの意見を基に、自分の旋律を見直す。	知	思		観察 ワークシート
4	◆創作した作品を紹介し合い、そのよさを学級で共有するとともに、旋律創作の楽しさや喜びを実感する。				
	○学級で作品を発表する。 ・創作した旋律で表したいイメージや創作表現の創意工夫を紹介する。 ・お互いの作品のよさを伝え合う。 ○本題材の学習を振り返る。	技		態	発表（観察） ワークシート 作品

評価は、〔記録に残す評価〕を行う評価の場面を示しています。〔指導に生かす評価〕の場面は、毎時間の学習のねらいに即した生徒の学習状況を把握し、必要な指導を適宜行います。



3 本題材における指導の工夫のポイント

ここでは、本題材における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点を基に、指導の工夫のポイントについて紹介します。

♪ 主体的な創作の学習を促す題材設定

「授業づくり Q&A」Q6 を参考に、本題材では、創作の学習に苦手意識があり、旋律について知覚・感受することが難しい生徒の課題解決に向けて、主体的な創作を促す題材設定と1人1台端末の活用によって、学習に対する興味・関心を高めることができるようにしました。

主体的な創作の学習を促す題材設定として、校区である「富士町」をテーマとしました。地域密着型の学校づくりの一環として富士町の自然や環境、文化などについて学習したことを生かし、自分が表したい音楽のイメージをより豊かに、明確にもつことができるようにするためです。結果として、生徒自身が選んだイメージを基に、音のつながり方の特徴を生かした創作活動を展開することができました（資料1，2）。

富士町と言えば	何を表しますか？	どんな音ですか？	どのような音のつながり方であらわれますか？
例) 温泉	あたたかい湯気	やわらかい音	・低い音で2つの音を行ったり来たり(順次進行) ・小刻みなリズム
木	心地よさ 風にゆめかき 下れる音	やわらかい音 (竹)のたたり(水の音) どしどしした音と 低い音(葉っぱ)	→ 低い音で... ちよりのたたり → 低い音(同音) ちよりのたたり → ちよりの音(2)を跳躍 遠のけたり

資料1 表したい音楽のイメージ例（生徒の記述より）

リズム	前半は音を少なくして→おちついた音 後半はハッキリした→葉っぱの音
速度	おちめとして落つた音
旋律 (音のつながり方)	1.小節目...順次進行で安心感を感じ 2.小節目...同音 "どしどし"に感じ 3.小節目...跳躍と跳躍進行をさせ音の幅に→順次にしめる 4. " " ... 跳躍進行をいれて、このうたは富士町の音にそった 最後以外に音を少なくして→目立たないけど存在している
その他	

資料2 表したい音楽の工夫点（生徒の記述より）

♪ 1人1台端末を活用した創作の学習活動の工夫

「授業づくり Q&A」Q9，10 を参考に、1人1台端末を活用した創作の学習活動の工夫を行いました。本題材では、1人1台端末を活用して創作の学習活動を行い、教科書に対応した学習者用デジタルコンテンツを用います。教科書に示されている内容と同じものが提示された画面に、和音の動き、リズム、音を入力して旋律創作を行うことができ、創作した旋律を聴き確かめながら学習することができます。

本題材において1人1台端末を活用する利点は、次の3点が考えられます。

1点目は、音のつながり方を即興的あるいは感覚的に試しながら創作できます。記譜や演奏することに苦手意識をもっている生徒も簡単な操作で様々な音のつながり方を試すことができます（資料3）。

2点目は、つくった旋律を即時に再生できることです。自分が表したい音楽のイメージと合っているかどうかを何度も聴き確かめることができるため、課題や条件に沿った創作活動に集中して学習を進めることができます。

3点目は生徒がつくった旋律を、学級全員の端末上で共有できることです。他者の作品を実際に見たり聴いたりすることで、新しい視点や考え方に気付き、よりよい音楽活動につなげることができます。



資料3 デジタルコンテンツを用いた学習活動の様子

このように3点の利点を生かすことで、生徒が創作の学習活動に主体的に取り組み、つくった旋律との対話、他者との対話を繰り返しながら作品を完成させることができます。さらに、グループでの中間発表や題材の終末での発表会を通して他者の先品に触れることで、学びを深めることができます。

♪ 他者の意見を参考に、自分の作品を見直す学習活動の工夫

「授業づくり Q&A」Q9 を参考に、他者の意見を参考に、自分の作品を見直す学習活動の工夫を行いました。本題材において、旋律創作は個人で行います。旋律を創作する中で、課題や条件に沿った旋律を創作することができるかどうかについて、生徒自身で判断することは難しいです。そこで、第3時にグループ内での中間発表の活動を位置付けます（資料4）。自分の作品を他者に聴いてもらうことで、共感したり新たな気付きを見付けたりしながら、更によりよい作品へと見直すことができます。また、自分の作品について、音楽を提示しながら言葉で紹介することは、創作に関する知識の理解につながります。



資料4 中間発表の様子

本題材の振り返りでは、他者の意見が自分の作品の見直しにつながったという内容の記述（資料5、6）が多かったため、効果的な学習活動だったと考えることができます。

③中間発表会を行い、「富士町「 」の魅力がより伝わる音楽にしよう
 〈グループの人から意見をもらいましょう〉 ※作品を見る視点…リズム・速度・旋律(音のつながり方)
 ・ともしめたの かな、ほい！ ・祭りに 歩 せ い さ て い れ て み て は ?
 ・ ♪ も と に か える
 ・ ♪ ♪ も ♪ ♪ に か える
 〈より良い旋律にするために改善するところ〉

③中間発表会を行い、「富士町「木」の魅力がより伝わる音楽にしよう
 〈グループの人から意見をもらいましょう〉 ※作品を見る視点…リズム・速度・旋律(音のつながり方)
 3小節目と順次進行→も、と、サリサリ感を出す
 〈より良い旋律にするために改善するところ〉
 →順次にしつら

②この学習を通して学んだこと、感じたことをまとめてみましょう。

どうやら伝えることができるのかか難しかったです。

星のイメージが高い音だったのでたくさんつけて、キラキラしているのを表すために「♪」をたくさんつけたけど、ミニ発表会のときに、さんと、さんの「楽譜を星座にしてみよう！」という
気付きに気づけたりしたけどおもしろそうだなと新しい発見をして
それをいさいつかて旋律がうつくしくなりました。

資料5 生徒Aの中間発表の意見と振り返り

②この学習を通して学んだこと、感じたことをまとめてみましょう。

私は楽符ではなく音で、「木」を表したけれど、 さん
 さんは楽符の音符も工夫して、富士町メロディーを表して
 いたから、すごくいいと思いました。私の音は少なくして
落ちつかせたり、音で木を表したりできたので、自分の1人は
満足いく音楽にできました。木は四季の移り変わりとかの
音楽で表せそうなのでも、作りたいと思いました。音楽を
作る時は、その人その人の個性で、どういう風にテーマを
表すのか、1年 号 氏名()
 変化するでも、音楽にふれて、自分ならではの音楽を
 いっぱい作りたいと思いました。そのためにも、と
 たくさん勉強を頑張ります!! 作る時、前回と今回で
 聞いた様々な工夫も使いたいです

資料6 生徒Bの中間発表の意見と振り返り